

新潟市早期景気観測調査

～平成29年9月分～

～目次～

9月調査の概要と概況	・・・P1
売上等項目別評価と業種別DI値	・・・P2
業界から寄せられた主なコメント	・・・P3
本調査方法と調査内容	・・・P4

新潟商工会議所

1. 9月調査の概要と概況

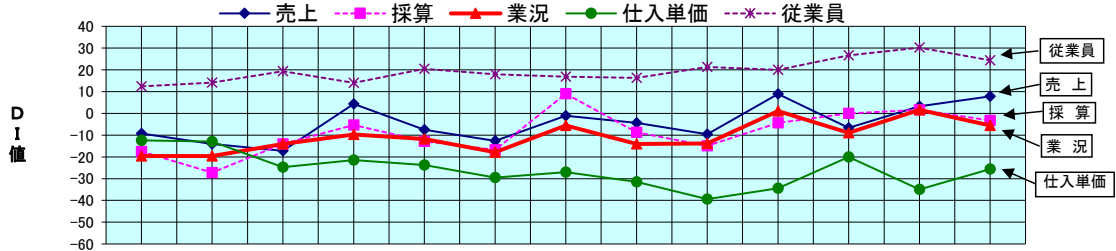
【9月の概要】

景況感は一進一退、先行き不透明な見通し

8月に比べると、売上D Iは、プラス幅が増加し、仕入単価D Iのマイナス幅は減少しているが、採算D Iと業況D Iは、プラスからマイナスに転じている。建設業では公共工事の減少、製造業でも仕入コスト増で採算が厳しいなどの声が聞かれており、景況の回復をなかなか実感できない状況で、一進一退が続いている。

先行きについては、8月に比べ、売上D Iのプラス幅はやや増加したが、採算D Iはプラスからマイナスに転じ、業況D Iもマイナスとなった。仕入単価D Iのマイナス幅は、ほぼ横ばい、従業員D Iはプラス幅がやや減少した。業況と採算面での下降が懸念され、依然として景況改善の動きは弱く、先行き不透明な見通し。

景気動向(前年同月比)全産業DI値 (平成28年9月～平成29年9月)



	H28年 9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	H29年 9月
売上	▲ 9.3	▲ 14.1	▲ 17.2	4.3	▲ 7.5	▲ 12.6	▲ 1.1	▲ 4.4	▲ 9.6	8.9	▲ 6.7	3.2	7.8
採算	▲ 17.5	▲ 27.2	▲ 14.0	▲ 5.4	▲ 12.9	▲ 16.8	9.0	▲ 8.7	▲ 14.9	▲ 4.4	0.0	1.6	▲ 3.3
業況	▲ 19.6	▲ 19.6	▲ 14.0	▲ 9.7	▲ 11.8	▲ 17.9	▲ 5.6	▲ 14.1	▲ 13.8	1.1	▲ 8.9	1.6	▲ 5.6
仕入単価	▲ 12.4	▲ 13.0	▲ 24.7	▲ 21.5	▲ 23.7	▲ 29.5	▲ 27.0	▲ 31.5	▲ 39.4	▲ 34.4	▲ 20.0	▲ 34.9	▲ 25.6
従業員	12.4	14.1	19.4	14.0	20.4	17.9	16.9	16.3	21.3	20.0	26.7	30.2	24.4

DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

1. 調査概況報告

【全産業平均DI】

売上D Iは4.6ポイントプラス幅が増加して、仕入単価D Iも9.3ポイントマイナス幅が減少したが、採算D Iはプラスからマイナス3.3ポイントになり、業況D Iもプラスからマイナス5.6ポイントに転じた。従業員D Iは5.8ポイントプラス幅が減少した。

全産業平均D I - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	仕入単価	従業員	業況
8月	7.9	3.2	▲ 23.8	27.0	0.0
9月	8.9	▲ 1.1	▲ 23.3	23.3	▲ 1.1

先行きは、売上D Iは1.0ポイントプラス幅が増加したが、採算D Iはプラスからマイナス1.1ポイントに転じ、業況D Iは0.0からマイナス1.1ポイントとなった。仕入単価D Iは0.5ポイントマイナス幅が減少し、従業員D Iは3.7ポイントプラスが減少した。

【業種別DI】

建設業は前年同月比で8月に比べ、仕入単価D Iで6.4ポイントマイナス幅が減少したものの、採算D Iで32.9ポイント、従業員D Iは12.0ポイント、業況D Iは17.5ポイントとそれぞれプラス幅が減少した。売上D Iはプラス23.1ポイントから0となった。先行きは、仕入単価D Iが4.3ポイントマイナス幅が減少したものの、売上D Iは0.9ポイント、採算D Iは14.1ポイント、従業員D Iは3.0ポイント、業況D Iは17.5ポイントとそれぞれプラス幅が減少した。

製造業は前年同月比で8月に比べ、採算D Iがマイナスポイントからプラス4.6ポイントに転じ、売上D Iで14.4ポイント、従業員D Iで6.8ポイントとそれぞれプラス幅が増加し、仕入単価D Iが14.4ポイントマイナス幅が減少した。業況D Iは0ポイントで変動はなかった。先行きは仕入単価D Iで10.6ポイントマイナス幅が増加したものの、売上D Iで14.4ポイント、従業員D Iで6.8ポイント、業況D Iで4.6ポイントとそれぞれプラス幅が増加し、採算D Iも12.1ポイントマイナス幅が減少した。

卸売業は前年同月比で8月に比べ、採算D Iで10.0ポイントマイナス幅が増加したものの、従業員D Iで5.9ポイントプラス幅が増加し、仕入単価D Iで32.1ポイント、業況D Iで5.4ポイントとそれぞれマイナス幅が減少した。売上D Iはマイナス23.1ポイントから0となった。先行きは、売上D Iでプラスポイントからマイナス5.9ポイントに転じ、業況D Iで2.3ポイントマイナス幅が増加したものの、採算D Iで9.5ポイント、仕入単価D Iで22.7ポイントとそれぞれマイナス幅が減少した。従業員D Iはマイナス7.7ポイントから0となった。

小売業は前年同月比で8月に比べ、従業員D Iで28.6ポイントプラス幅が増加し、採算D Iで85.7ポイント、仕入単価D Iで19.0ポイント、業況D Iで4.7ポイントとそれぞれマイナス幅が減少した。売上D Iはマイナス33.3ポイントから0となった。先行きは、売上D Iと従業員D Iが共に28.6ポイントプラス幅が増加し、採算D Iはマイナスポイントからプラス14.3ポイントに転じ、仕入単価D Iは4.7ポイントマイナス幅が減少した。業況D Iはマイナス33.3ポイントから0となった。

サービス業は前年同月比で8月に比べ、採算D Iと業況D Iが共にプラス9.1ポイントからマイナス3.9ポイントに転じ、売上D Iで1.4ポイント、従業員D Iで20.6ポイントとそれぞれプラス幅が減少した。仕入単価D Iは、8.1ポイントマイナス幅が増加した。先行きは採算D Iでプラスポイントからマイナス11.5ポイントに転じ、従業員D Iは23.1ポイントプラス幅が減少し、仕入単価D Iも8.7ポイントマイナス幅が増加した。売上D Iは0ポイントからマイナス7.7ポイントとなり、業況D Iは0ポイントで変動はなかった。

2. 売上等項目別評価と業種別DI値

【項目別評価】

＜売上＞

売上D I の前年同月比は、製造業で14.4ポイントプラス幅が増加し、卸売業はマイナス23.1ポイント、小売業はマイナス33.3ポイントから共に0ポイントとなった。サービス業は1.4ポイントプラス幅が減少し、建設業はプラス23.1ポイントから0となった。

先行きについては、製造業で14.4ポイント、小売業で28.6ポイントとそれぞれプラス幅が増加したものの、卸売業でプラスポイントからマイナス5.9ポイントに転じ、建設業で0.9ポイントプラス幅が減少し、サービス業が0ポイントからマイナス7.7ポイントになった。

＜採算＞

採算D I の前年同月比は、製造業でマイナスポイントからプラス4.6ポイントに転じ、小売業で85.7ポイントマイナス幅が減少したものの、建設業は32.9ポイントプラス幅が減少し、卸売業は10.0ポイントマイナス幅が増加し、サービス業はプラスポイントからマイナス3.9ポイントに転じた。

先行きについては、建設業で14.1ポイントプラス幅が減少し、サービス業でプラスポイントからマイナス11.5ポイントに転じた。製造業は12.1ポイント、卸売業は9.5ポイントとそれぞれマイナス幅が減少し、小売業はマイナスポイントからプラス14.3ポイントとなった。

＜仕入単価＞

仕入単価D I の前年同月比は、サービス業で8.1ポイントマイナス幅が増加したものの、建設業で6.4ポイント、製造業で14.4ポイント、卸売業で32.1ポイント、小売業で19.0ポイントとそれぞれマイナス幅が減少した。

先行きについては、製造業で10.6ポイント、サービス業で8.7ポイントとそれぞれマイナス幅が増加したものの、建設業で4.3ポイント、卸売業で22.7ポイント、小売業で4.7ポイントとそれぞれマイナス幅が減少した。

＜従業員＞

従業員D I の前年同月比は、建設業が12.0ポイント、サービス業で20.6ポイントとそれぞれプラス幅が減少したものの、製造業で6.8ポイント、卸売業で5.9ポイント、小売業で28.6ポイントとそれぞれプラス幅が増加した。

先行きについては、建設業で3.0ポイント、サービス業で23.1ポイントとそれぞれプラス幅が減少したものの、製造業で6.8ポイント、小売業で28.6ポイントとそれぞれプラス幅が増加し、卸売業はマイナス7.7ポイントから0となった。

＜業況＞

業況D I の前年同月比は、建設業で17.5ポイントプラス幅が減少し、サービス業でプラスポイントからマイナス3.9ポイントに転じた。卸売業は5.4ポイント、小売業は4.7ポイントとそれぞれマイナス幅が減少し、製造業は0ポイントで変動がなかった。

先行きについては、建設業でプラス17.5ポイントプラス幅が減少し、卸売業で2.3ポイントマイナス幅が増加した。製造業はマイナス33.3ポイントから0ポイントとなった。サービス業は0ポイントで変動がなかった。

【参考】全産業平均DI-向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	仕入単価	従業員	業況
8月	7.9	3.2	▲ 23.8	27.0	0.0
9月	8.9	▲ 1.1	▲ 23.3	23.3	▲ 1.1

2. 業種別DI値

①: 前年同月比 ②: 向こう3か月間の先行き見通し

(1) 建設業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
8月	23.1	23.1	38.5	30.8	▲ 23.1	▲ 15.4	23.1	30.8	23.1	23.1
9月	0.0	22.2	5.6	16.7	▲ 16.7	▲ 11.1	11.1	27.8	5.6	5.6

(2) 製造業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
8月	8.3	8.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 41.7	▲ 16.7	25.0	25.0	0.0	0.0
9月	22.7	22.7	4.6	▲ 4.6	▲ 27.3	▲ 27.3	31.8	31.8	0.0	4.6

(3) 卸売業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
8月	▲ 23.1	7.7	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 61.5	▲ 46.2	0.0	▲ 7.7	▲ 23.1	▲ 15.4
9月	0.0	▲ 5.9	▲ 17.7	▲ 5.9	▲ 29.4	▲ 23.5	5.9	0.0	▲ 17.7	▲ 17.7

(4) 小売業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
8月	▲ 33.3	0.0	▲ 100.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3
9月	0.0	28.6	▲ 14.3	14.3	▲ 14.3	▲ 28.6	28.6	28.6	▲ 28.6	0.0

(5) サービス業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
8月	9.1	0.0	9.1	13.6	▲ 22.7	▲ 18.2	59.1	50.0	9.1	0.0
9月	7.7	▲ 7.7	▲ 3.9	▲ 11.5	▲ 30.8	▲ 26.9	38.5	26.9	▲ 3.9	0.0

3. 業界から寄せられた主なコメント

平成29年9月

建設業	設備工事	建設業界の市況は一段と厳しくなっている。
	総合建設	県内においては公共工事、民間設備投資共に低迷しているため、先行き不透明である。
製造業	酒造	仕入単価の上昇リスクが続いているが、上昇は小幅に収まりそうである。
	食料品	仕入原料の値上げと流通コスト（運賃値上げ）により採算は厳しい。
卸売業	建築資材	公共資材卸売りのため、第三四半期から荷動きが激しくなると予想している。
	青果	天候不順により仕入価格の高騰が続いている。
小売業	生花	全体的に販売も順調に進み、敬老の日や彼岸、婚礼の需要に期待したい。
サービス業	不動産	景気は決して良くないが不動産の売買は増加している。
	タクシー	燃料(LPG)が着実に値上げされてきている。
	運輸	物量の拡大と運賃値上げの効果が相まって、採算は改善してきた。

4. 本調査方法と調査内容

業種別調査対象数

業 種	建 設 業	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービス業	合 計
調査対象数(件)	61	61	60	50	69	301
回 答 数(件)	18	22	17	7	26	90
回 収 率(%)	29.5	36.1	28.3	14.0	37.7	29.9

調 査 方 法

新潟市内にある当所の会員企業・団体等の中から、建設・製造・卸・小売・サービスの5業種について、予め調査への協力をお願いした301ヶ所の調査対象に対し、毎月15日前後に調査票をインターネットまたはファクシミリ送信し、25日前後までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表します。

質 問 内 容

売上・採算・仕入単価・従業員・業況について、今月の動向が前年同月と比較してどのように変化しているかということと、今後3ヶ月の見通しについて、今月と比較してどのように考えるかということを探っています。

D I と は

DI(DIFFUSION INDEX)値：景況判断指数

売上・採算・業況などの各項目についての、調査対象の判断の状況を表す指数です。
ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を示す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。つまり、売上高など実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味着。

D I の 計 算 方 法

$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上	(増加)の回答%－(減少)の回答%
採算	(好転)の回答%－(悪化)の回答%
仕入単価	(下落)の回答%－(上昇)の回答%
従業員	(不足)の回答%－(過剰)の回答%
業況	(好転)の回答%－(悪化)の回答%